

もり
ひよし森林だより (108) 2016年
春 号



● 亀岡市立千代川小学校5年生の社会科実習風景（3月8日・日吉町体験の森にて）

発行=日吉町森林組合 〒629-0341 京都府南丹市日吉町殿田尾崎8-1
Tel=0771-72-0017 Fax=0771-72-1375
E-mail=h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp
<http://www.720017.or.jp/>
2016年4月発行

通常総代会の報告

今年も昨年同様、3月の最終の土曜日（3月26日）の午後に、南丹市日吉町生涯学習センター（遊・YOU・ひよし）をお借りして「平成27年度（第49回）通常総代会」を開催しました。

当日は春を感じる晴れの穏やかな陽気で、年度末のお忙しい時期にも関わらず、82名の総代の皆さまにご出席いただきました。これに事前に届け出いただいた6通の委任状と50通の書面議決書を足し合わせると138名となり、総代会成立要件である総代定数（205名）の過半数を超え、総代会は成立しました。

来賓としてご臨席いただきましたのは、京都府南丹広域振興局長の石野茂様、同じく森づくり推進室副室長の畑中英樹様、南丹市長の佐々木稔納様（代理）、京都府森林組合連合会長の青合幹夫様（代理）の4名の方々です。また、京都府議会議員の片山誠治様から祝辞を頂戴しました。

総代会終了後に組合設立50周年記念式典（詳細は後述）を予定していた関係で、例年より1時間早い午後0時30分に、宇野組合長の挨拶をもって総代会を

スタートし、来賓の方々に御祝辞をいただいたあと、和田地区総代の小林守様に議長をお願いして、議案の審議に入りました。

平成27年度は、間伐面積と新規開設作業道延長が昨年度よりやや減少したものの、木材搬出量は増加しました。結果として、税引前純利益は1,062万円となり、組合員の皆様への出資配当につきましては、昨年度同様5%の配当という提案をさせていただきました。平成27年度事業報告及びそれに関連する内容、平成28年度の事業計画及び関連項目の全10議案をご提案させていただきました。全て原案どおり可決承認いただきました。

議案の質疑では、志和賀地区総代の山口浩史様より、出資証券の発行について「一般の企業では株券の電子化を進めている。組合の出資証券も電子化を図っていったらどうか」というご意見をいただきました。森林組合としましては、一般社会に合わせ今後電子化を検討させていただきます。と思っています。

文末になりましたが、ご足労いただいた総代の皆様を始め、お忙しい中をご臨席いただきました来賓の方々に、この場

を借りて改めてお礼申し上げます。また、全ての組合員の皆様に、今後とも変わらぬご指導やご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。通常総代会の報告とさせていただきます。



設立50周年記念式典について

昭和41年3月1日、旧三ヶ村の胡麻郷村森林組合、五ヶ荘村森林組合、世木村森林組合の3組合が合併し、日吉町森林組合が設立されてから平成28年度で50周年という大きな節目を迎えることとなりました。

その節目を記念いたしまして、平成27年度通常総代会後に「日吉町森林組合設立50周年記念式典」を開催させていただきました。多くの皆様にご出席いただきました。

式典は、宇野組合長の挨拶でスタートし、そのあと、組合の発展に対して多大な貢献をいただきました歴代の2名の組合長（藤林芳朗様、井尻浩義様）へ感謝状を贈呈いたしました。

藤林芳朗様におかれましては、平成6年度から17年度の全4期・12年間に渡り代表理事組合長を勤められました。

その間、林業では画期的な現場職員の月給制度を導入され、若手林業者の定着を推進されました。さらに、組合員の皆様の森林を守るため、「日吉の森復活作戦」を開始され、手入れが遅れた人工林の間伐を積極的に進め、今日の日吉町森林組

合の基礎を作り上げられました。

井尻浩義様におかれましては、平成18年度から26年度までの全3期・9年に渡り代表理事組合長を勤められました。藤林前組合長より「組合員の皆様の森林を適正に管理し守っていくことが森林組合の本来の姿だ」という精神を引き継がれ、日吉の森復活作戦をさらに推し進められました。また、少しでも多くの木材販売代金を組合員の皆様に御返却出来るよう尽力されました。



写真・藤林様への感謝状贈呈

なお、井尻様はご都合がどうしても合わず、当日は御欠席されました。

次に、組合設立50周年の歴史を簡単にまとめました「日吉町森林組合50年の歩み」を上映させていただきました。組合員の皆様には、改めまして50周年記念冊子を後日送付させていただきますので、そちらをご覧くださいと思います。

その後、50周年特別記念講演として、女優として活躍する傍ら自然環境問題への取組をライフワークとし、林野庁林政審議会委員を務められております葛城奈海様にご講演いただきました。

講演は、「日本の底力は やおよろずの神宿る 森と里山にあり」というテーマで約1時間ほど行われ、大盛況のうち



写真
「葛城奈海様」

平成28年度事業計画について

3月26日の通常総代会で承認された平成28年度森林整備事業計画は、間伐目標面積250畝、作業道開設延長15,000m、木材搬出量13,000m³で、地区別の森林整備実施箇所は次の箇所を予定しております。

【地区別一覧】

- 保野田地区
- 大迫
- 胡麻地区
- 大峠・東山
- 畑郷地区
- 奥山
- 田原地区
- 大山・中尾・宮の奥
- 四ツ谷地区
- 平の上・今谷・積谷
- 佐々江地区
- ヒダニ・道奥谷
- 生畑地区
- 小畑・上稗生
- 木住地区
- 鼻ノ奥
- 中世木地区
- 牧山

天若地区 東千谷

以上が地区別の森林整備実施予定箇所となります。この実施箇所を基本的に事業を進めて参りたいと考えておりますが、右記以外の箇所につきましても、所有者の皆様からご要望がございましたら、計画に組み込み実施させていただきます。また、林道・作業道につきましても、路面が荒れたり、倒木があつて通れなくなっているなどありましたらご連絡いただきますようお願い申し上げます。



春のお客様大感謝祭

4月16日(土)・17日(日)の2日間に渡り、森の道具屋「春のお客様大感謝祭」を開催いたします。

「チップソー大特価」

草刈用チップソーメーカーカーで有名なツムラのチップソーが、3枚以上ご購入いただくとなんと、「1枚当たり最大30%割引」とさせていただきます。

※石に強いF型ハイパー

- 3枚以上ご購入で・・・
- 1枚あたり

500円もお得!

※根強い人気のL型9・10インチ

- 3枚以上ご購入で・・・
- 1枚あたり

1,080円もお得!

※草刈も灌木伐採もOKのL52型

- 3枚以上ご購入で・・・
- 1枚あたり

886円もお得!

他にも各種ございます。必需品の草刈用チップソー、ご購入はお早めに。



山林異動届等の提出について

森林だよりではお馴染みの内容となっておりますが、左記の事柄について該当される方がおられましたら、組合までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

● 名義人が高齢などの理由で家族内で名義を変更した

● 名義人が亡くなられたので相続をした

● 売買・贈与などで山の面積が増えたり、減ったりした

● 引っ越しをされ住所が変更になった

● 共有林などの代表者や会計責任者が変更になった

組合員の皆様との繋がりを、いつまでも大切にしていきたいと思っておりますので、変更がありましたらご連絡くださいますようお願い申し上げます。

(出野)



地域社会貢献活動の報告

表紙写真にもありますように、3月8日に亀岡市立千代川小学校の5年生78名と引率の先生5名の総勢83名の方々が、社会科における「わたしたちの生活と森林」という学習の一環で組合に來られました。

午前11時から午後2時半までの2時間半で、11時から12時までは森林と林業についての座学、昼からは林業現場見学という行程です。

千代川小学校の5年生は、昨年に引き続き今年で2回目の林業現場の見学となります。昨年の見学でもそうだったので、座学の時間では山や森のことについてこちらから質問をすると、半数以上の生徒が「はい！」と手を挙げて質問に答えようとしてくれます。ですから、教える側もついつい嬉しくなって、出来るだけ色々なことを教えてあげたいという気になります。

また昼からの現場見学でも、チェーンソーで伐採した木が倒れていくのを見ながら「おお！すげえ！！」、「格好良い！」という歓声が上がリ、こちらもついつい予定にない「じゃあ、もう一本伐

ってもらおうかあ！」ということになりました。

作業現場の見学が終わればこちらも昨年と同じく、遊園地のアトラクションに並ぶように子供達が2台の林業機械に長蛇の列をなし、順番に機械の運転席に乗り込み「ちよこつと体験」が開かれました(表紙写真参照)。

当日は京都新聞にも取材に来ていただきました。翌日の丹波版に取り上げていただきました。その記事にもありますように、普段は森林や林業とほとんど関わる事のない子供や先生方に、森林と林業の実態を学んでいただくということは、大変重要なことだと思います。昨年の5年生もそうですが、林業という仕事があるということ、それが意外に格好良いということを知ってもらい、ちよこつでも興味を持つていただけたなら、森林・林業の未来にほんの少し貢献出来たのではないかなと思います。



(資料提供・北桑木材センター H28, 3, 26)

スギ	中目	4 m × 18 ~ 24 cm	9,000 ~ 12,000	・スギ
	〃	4 m × 24 ~ 30 cm	12,000 ~ 20,000	細材は安い。
	柱	3 m × 16 ~ 20 cm	9,000 ~ 13,000	中目良材・元木
	〃	6 m × 16 ~ 20 cm	12,000 ~ 14,000	は高い
元木	良材	4 m × 24 cm上	30,000 ~ 50,000	
ヒノキ	柱	3 m × 16 ~ 20 cm	13,000 ~ 15,000	・ヒノキ
	〃	6 m × 16 ~ 20 cm	15,000 ~ 23,000	良材高く量多い
	中目	4 m × 18 ~ 24 cm	14,000 ~ 22,000	並材は凡調
	土台	4 m × 14 ~ 16 cm	13,000 ~ 15,000	
元木	良材	4 m、6 m共	100,000 ~ 150,000	

朝晩の通勤は必ずFMラジオを聞いているのですが、先日海外で活躍されている日本人を紹介するコーナーで、アメリカのバークリー音楽大学で日本人初の助教授になられその後准教授になられた竹中真さんが紹介されました。

その中で、アメリカ人と日本人を比べると、明らかに日本人の自己アピール力や質問量がアメリカ人より少ないということを言われてました。大学の面接などでもその差は顕著に出てくるということです。

このラジオを聞きながら「まあ、確かに会議や研修をしても、意見や質問はあんまり出てこないなあ」と思っていました。また、「オレも会議や研修会などでは、あまり質問してないなあ」とも。

しかし、前項の千代川小学校の記事を書いている時にふと「あれ？そういうえば小学生は自分で手を挙げて質問してくるなあ。しかも、こちらからの質問に対しても手をバツと挙げて答えようとアピールしてるなあ」と思いました。

もうすぐ2歳半になる娘も、私や奥さんが何かしているのを見ると必ず「何し

てるの？私もしたい〜！」とアピールしてきます。そう考えると、潜在的に日本人がアメリカ人に比べてアピール力が少ないという訳ではないと思います。

これには色々な見方がありますので、一概にどうということは言えませんが、私個人の事を考えてみますと大きく二つの要因が考えられます。一つは周囲の目を気にしているということと、もう一つはそんなことはもう知ってるよと思ってしまうというところ。

でも、5年生の生徒や娘を見ているとそんな気持ちは微塵も見えませんが、知らないことがあると「これは何故こう何ですか？」と聞いてきます。ちなみに、娘はスーパーなどでも大声で歌を唄い、しかもそこそこ音痴ですから、一緒にいるこっちが恥ずかしくなります。

これからは、千代川小学校5年生や娘を見習い、ちよつとでも知らないことや分からないことは、周囲の目を気にせず質問出来るよう心を強くし、小さな枠に縛られるのではなく、自らをより高められるよう自己研鑽していかねければ駄目だなと思いました。ただ、我が家の音痴は娘と奥さんだけで十分ですが。

(小林)